

いばらきシルバー交通安全情報 ネットワーク協議会回覧板(10月号)



10月は、前の月に比べて日没時間が40分も早まる！



日没後は急速に暗くなるため、歩行者も運転者も注意が必要です。

薄暮時（17時～19時）の歩行者の死亡・重傷事故は、年末にかけて増加します。人の目が暗さの変化に慣れず、ドライバーも歩行者も、お互いに発見が遅れ、交通事故が発生しやすくなります。

早めのライト点灯は、歩行者などに自分の車の存在を知らせるという、重要な意味がありますので、早めのライト点灯で交通事故を未然に防ぎましょう。



月別点灯目安時間



10月：16時30分

11月：16時00分

12月：16時00分

早めのライト点灯

反射材の活用

夜間は、歩行者から車のライトが見えても、車の運転者から歩行者がよく見えないことがあります。

反射材や明るい目立つ色の衣服で、周囲に自分の存在をアピールしましょう。

反射材を靴やカバン、大きく動く手足につけましょう。

昼夜別高齢歩行者の死者数（令和7年中）



《ロービームの場合》
運転者から見える距離

黒っぽい服

26m

反射材着用

57m

こんなところにも
反射材

帽子

タスキ

バンド

ストラップ

靴用シール